

サイバーレップス

透明遮熱フィルム

韓国ネックスフィルム社製

インド・ガルワレ社の窓用フィルムの総発売元、サイバーレップス

(千葉県流山市、根本孝男社長)はこのほど、韓国・ネックスフィルム社(李信淳代表理事)の代理権を取得。スパッタリング透明遮熱フィルムを中心に、ネックスフィルム製品を販売する。同社は既に、超格安の

ネックスフィルム社製透明飛散防止フィルム「GS50K」(フィルム厚六十

八ミリ、幅は九百ミリ、千二百ミリ、千五百二十五ミリの三種)を販売しており、順調に実績を伸ばしている。さらに強い飛散防止フィルム百二十ミリ厚「GS100K」、貫通防止フィルム二百二十ミリ厚「GS200

K」もある。今後はこれまでの熱線反射タイプと同等価格でスパッタリング遮熱フィルムをそろ

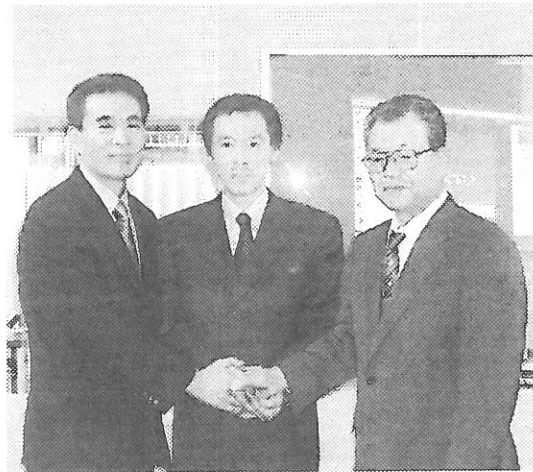
え、ガルワレ社製からネックスフィルム社製に切り替えていく。ネックスフィルム社には圧倒的価格競争力と優れた技術開発力がある。根本社長は「日本での成功なくして真の世界的リー

ダーにはなれない」という李代表理事の姿勢に共感したと語る。

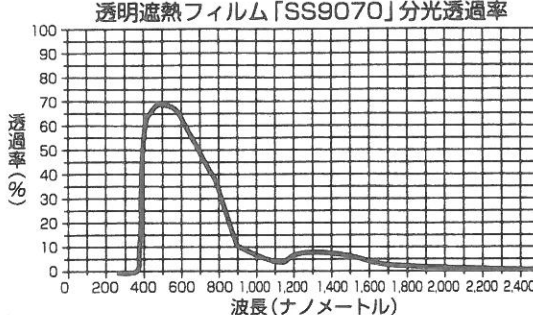
ネックスフィルム社はIR(赤外線)カット率を九九%に到達させた。二〇〇八年八月にスパッタリング設備を導入、本格生産を開始した。日本向けには「SS9070」(可視光線透過率六八%、IRカット率九五%、遮へい係数〇・五七)の製造を開始した。同社は昨年十二月二十一日、李ネックスフィルム社代表理事と安正煥(アン・ジョンファン)海外事業本部長を招いて、透明遮熱フィルムを中心に新製品発表会を開催し、各種スパッタリングフィルムを充実させていく方針を明言した。

透明遮熱スパッタリングフィルム「SS9070」はIRカット率、遮へい係数の高い性能を持つだけでなく、日射吸収率が三三・四%と他社製品に比べ低く、熱割れの危険性が少ない。

李ネックスフィルム社代表理事は「現在のスパッタリング技術をさらに高度化させ、より高性能の遮へいフィルムの開発、製造も可能」という。ネックスフィルム社の工場は韓国ソウルから四十五キロ東南方向にあり、第二工場もある。基材のPET加工からスパッタリングまで一貫製造しており、価格競争には自信を持っている。



国内販売提携を結んだネックスフィルムの李代表理事と握手する根本社長(右)



サイバーレップスはインターネット販売が好調だ。ホームページ上でフィルムの選び方や施工手順の動画も公開。自社製半自動カット設備を社内設置し、業者向けにガラスサイズにカットして販売している。